

～再処理工場のしゅん工・操業に向けて～ 保全業務見学会を開催しました

9月17日（水）、地元企業の皆さまを対象とした保全業務見学会を開催しました。

この見学会は、当社の保全業務への参入を促進する活動の一環として2022年度より実施しており、今回で6回目の開催となります。

当社は、再処理工場のしゅん工後、安全で安定した操業を継続していくためには、より一層、地域の皆さまと一体となった工場運営を行うことが不可欠と考えており、地元企業の更なる参入に向けた活動を進めています。

見学会の様子

今回は、地元企業3社1団体の計8名の皆さまにご参加いただき、当社グループ会社（株式会社ジェイテック）による、ボイラ設備の計装機器点検業務を見学していただきました。



作業前ミーティング

作業開始前には、事故や災害を未然に防ぐため、KYK（危険予知活動）を実施します。
その作業に潜む危険を予想し、指摘し合います。

計装機器の取り外し作業

安全確保等のために設備の計測・監視を行う機器（計装機器）を、指示値調整用の機材に接続するため取り外す作業を行います。



計装機器の指示値調整作業

取り外した計装機器を指示値調整用の機材に接続し、試験的に一定の圧力をかけ、起動時および運転時の圧力が正常に計れることを確認します。
正常に計れない場合は、調整を行う点検作業を実施します。

参加した 企業の声

- ・作業員が危険箇所を指さし呼称で確認しているのが印象深かった。
- ・現場管理業務には既に参入しているが、保全業務にも幅を広げていきたいと思う。
参入後も、日本原燃のサポートがあるのはありがたい。

参加された皆さま、ありがとうございました。当社はこれからも、保全業務をより多くの地元企業に担っていただき、安全・安定操業に取り組んでまいります。次回の見学会開催については、ホームページ等でお知らせいたします。

